

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

1

平成29年度感染症危機管理研修会
日時：平成29年10月11日(水)12：40～12：50
場所：国立感染症研究所 戸山庁舎 2階 共用第一会議室

自治体等向け麻疹各種ガイドラインの 変更点に関する説明

国立感染症研究所 感染症疫学センター 第三室
室長 多屋 馨子 (たやけいこ)
ktaya@niid.go.jp

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

2

今日の内容

- 麻疹に関連した各種ガイドラインの変更点に関する説明

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center 3

今日の内容

- 麻疹に関連した各種ガイドラインの変更点に関する説明・・・現在作成中
- 最近の国内外の麻疹発生動向
- 麻しん含有ワクチンの接種率

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center 4

今日の内容

- 麻疹に関連した各種ガイドラインの変更点に関する説明・・・現在作成中
- 最近の国内外の麻疹発生動向
- 麻しん含有ワクチンの接種率

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

5

麻疹に関するガイドライン改訂・新規作成

現在、感染研のHPに掲載中のガイドライン等を改訂

1. 麻疹とは・・・2017年6月7日改訂完了
2. 都道府県における麻しん風しん対策会議等に関するガイドライン第二版：
暫定改訂版・・・改訂中
3. 学校における麻しん対策ガイドライン・・・改訂中
4. 麻しん発生時対応ガイドライン第二版：暫定改訂版・・・改訂中
5. 医師による麻しん届出ガイドライン第五版・・・改訂中
6. 医療機関での麻疹対応ガイドライン第六版・・・改訂中

新規作成予定のガイドライン

7. 麻疹含有ワクチン接種のガイドライン
8. 職場の麻疹対策ガイドライン
9. 海外渡航者が麻疹を予防するために
10. 病原体検出情報入力の手引き

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

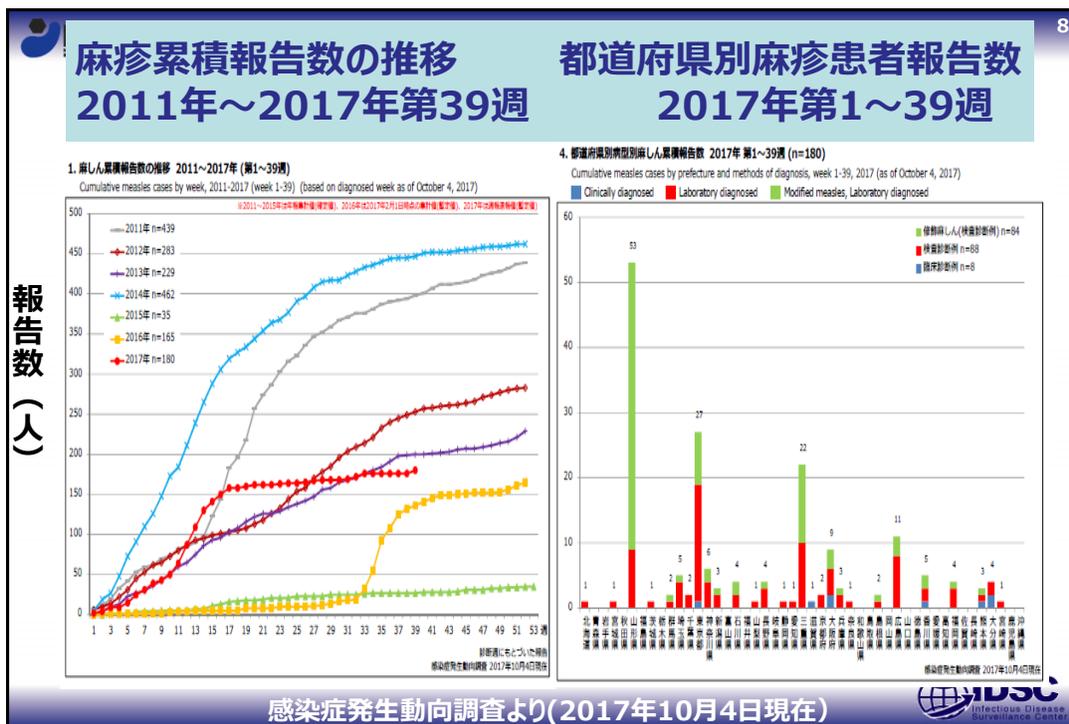
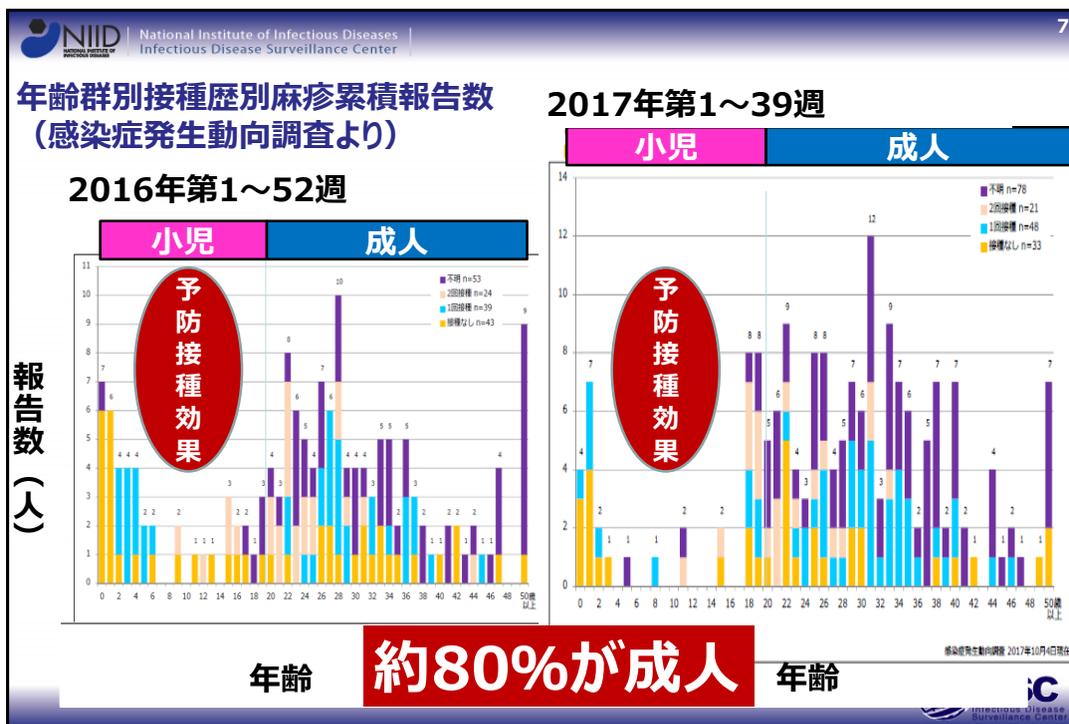
NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

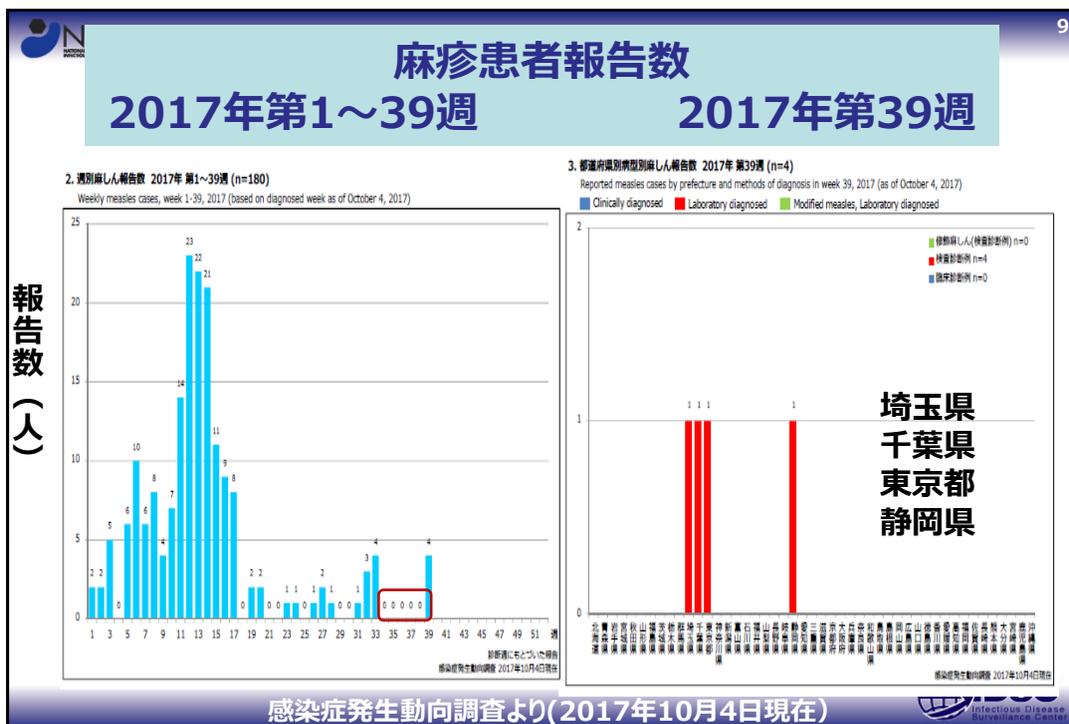
6

今日の内容

- 麻疹に関連した各種ガイドラインの変更点に関する説明・・・現在作成中
- **最近の国内外の麻疹発生動向**
- 麻しん含有ワクチンの接種率

IDSC Infectious Disease Surveillance Center





National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

2017年第39週の4例

- 各自治体において積極的疫学調査ならびに感染拡大予防策実施中
- 感染経路について、共通曝露がないか等について、調査中

ご協力よろしくお願い申し上げます

Infectious Disease Surveillance Center

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

記者発表資料

平成29年10月6日

疾病・感染症対策室感染症対策班

担当：星・近藤・松崎

内線：2632

麻疹（はしか）患者の発生について（第1報）

平成29年10月5日、富山市内の医療機関から富山市保健所へ、発熱及び発疹等の症状を訴えて受診した患者について、麻疹と臨床診断した旨の届出があり、富山市保健所で検査を実施したところ、本日、陽性であることが判明しました。

当該患者は平成29年9月13日に日本へ入国された方で、下記都府県に滞在していました。なお、現在大崎保健所が疫学調査を実施し、感染拡大防止に努めております。

当該患者が滞在した先で当該患者と接触した方は、麻疹に感染している可能性がありますので、広く情報提供するものです。

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

患者A

第1報より

- 20代女性（外国籍）
- 2017年9月13日 成田空港に入国
- 2017年10月1日 発熱、発疹（顔）
- 2017年10月5日 富山市内の医療機関で麻疹と臨床診断
- 2017年10月6日 麻疹ウイルス検査陽性（検査診断）

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

記者発表資料

平成29年10月7日

疾病・感染症対策室感染症対策班

担当：星・近藤・松崎

内線：2632

麻しん（はしか）患者の発生について（第2報）

平成29年10月5日、富山市内の医療機関から富山市保健所へ、発熱及び発疹等の症状を訴えて受診した患者について、麻しんと臨床診断した旨の届出があり、富山市保健所で検査を実施したところ、10月6日、陽性であることが判明しました。

当該患者は平成29年9月13日に日本へ入国された方で、下記都府県に滞在していました。当該患者は、10月5日から県内に滞在しており、現在大崎保健所が疫学調査等を実施し、感染拡大防止に努めております。

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

- 9月13日 成田空港に入国
- 9月13～15日、17日 宮城県大崎市
- 9月14日 宮城県仙台市
- 9月15～17日 青森県青森市
- 9月18～26日 群馬県邑楽（おうら）郡千代田町
- 9月23日 東京都渋谷区、荒川区
- 9月24日 東京都足立区、渋谷区
- 9月26日 東京都台東区、千代田区、新宿区
- 9月27日 東京都渋谷区、埼玉県東松山市
- 9月27～29日 新潟県十日町市
- 9月29日 新潟県長岡市、三条市
- 9月30日 埼玉県東松山市、東京都大田区、江東区、静岡県駿東郡小山町
- 9月30日～10月2日 愛知県刈谷市
- 10月2日 奈良県奈良市、京都府京都市
- 10月3～5日 福井県敦賀市
- 10月5日 富山県富山市
- 10月5～9日 宮城県大崎市

第2報より

10月1日発症

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

第2報より

- 各都道府県間の移動は乗用車を利用
- 10月7日現在、発熱等が続いているため、宿泊施設内で静養、通常の麻疹として経過観察
- 診断された富山市から宮城県大崎市まで乗用車で移動しており、宿泊施設に到着してからは行動自粛の要請により外出していない
- 宿泊施設には従業員の他は当該患者と同行者以外の宿泊客はいない

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

担当課

記者発表資料

平成29年10月9日

疾病・感染症対策室感染症

症対策班

担当：星・近藤・松崎

内線：2632

※電話番号が内線表記になっている場合のお問い合わせ先は、022-211-〇〇〇〇（〇の4桁が内線番号）となります。

麻疹（はしか）患者の発生について（第3報）

平成29年10月5日から県内に滞在している麻疹（はしか）患者（以下「患者A」という。）の同行者を調査したところ、9月下旬に発熱等の症状があったことから、大崎保健所が麻疹検査を実施しました。

10月8日、検査の結果から、この同行者が麻疹であったことが判明しましたのでお知らせします。

当該同行者（以下「患者B」という。）の症状は9月28日には消失しており、麻疹は既に治癒しております。

なお、患者Aは現在解熱して症状は安定しており、回復傾向にあります。

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

第3報より

患者B（患者Aの同行者）

- 20代女性（外国籍）
- 2017年9月23日 発熱、咳等
- 2017年9月28日 症状消失

宮城県からの情報提供（宮城県HPより）

第3報より

- 9月13日 成田空港に入学
- 9月13～15日、17日 宮城県大崎市
- 9月14日 宮城県仙台市
- 9月15～17日 青森県青森市
- 9月18～26日 群馬県邑楽（おうら）郡千代田町
- 9月23日 東京都渋谷区、荒川区
- 9月24日 東京都足立区、渋谷区
- 9月26日 東京都台東区、千代田区、新宿区
- 9月27日 東京都渋谷区、埼玉県東松山市
- 9月27～29日 新潟県十日町市
- 9月29日 新潟県長岡市、三条市
- 9月30日 埼玉県東松山市、東京都大田区、江東区、静岡県駿東郡小山町
- 9月30日～10月2日 愛知県刈谷市
- 10月2日 奈良県奈良市、京都府京都市
- 10月3～5日 福井県敦賀市
- 10月5日 富山県富山市
- 10月5～9日 宮城県大崎市

9月23日発症

10月1日発症

NIID | National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

今後の対応

感染力のある期間に滞在した自治体

- 9月18～26日 群馬県邑楽（おうら）郡千代田町
- 9月23日 東京都渋谷区、荒川区
- 9月24日 東京都足立区、渋谷区
- 9月26日 東京都台東区、千代田区、新宿区
- 9月27日 東京都渋谷区、埼玉県東松山市
- 9月27～29日 新潟県十日町市
- 9月29日 新潟県長岡市、三条市
- 9月30日 埼玉県東松山市、東京都大田区、江東区、静岡県駿東郡小山町
- 9月30日～10月2日 愛知県刈谷市
- 10月2日 奈良県奈良市、京都府京都市
- 10月3～5日 福井県敦賀市
- 10月5日 富山県富山市
- 10月5～9日 宮城県大崎市

● 発症前日から解熱後3日を経過するまでは感染力があると考え
● 曝露後5～21日は発症する可能性有りと考える

患者B症状有：9月23日～28日⇒ 9月27日～10月22日まで発症者が出る可能性
患者A症状有：10月1日～ ⇒ 10月5日～10月27日まで発症者が出る可能性

今日は10月11日

IDSC
Infectious Disease Surveillance Center

NIID | National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

医療機関に今すぐ情報提供して欲しい内容

- **医療関係者は、1歳以上で2回の予防接種歴を記録で確認できているか？**
 - 罹患歴は検査診断されているか？
- **インフルエンザ迅速診断キット陰性は麻疹への注意必要？！**
- **発熱、カタル症状、発疹を認める患者は、渡航歴、旅行歴の確認、1歳以上で2回の麻疹含有ワクチン接種歴の確認**
- **小児科に加えて、次の診療科へも情報提供重要**
 - 夜間/休日救急外来
 - 内科・総合診療科・・・8割が成人
 - 皮膚科・・・初診時に薬疹疑いと診断される症例多い
 - 耳鼻咽喉科・・・中耳炎
 - 眼科・・・眼球結膜充血、眼脂
 - 呼吸器内科・・・発熱と呼吸器症状
 - 消化器内科・・・肝機能異常（肝炎と診断される症例多い）
 - ICU・・・重症者が発生する可能性有り
 - 産婦人科・・・妊婦が罹患すると流産・早産の可能性あり
- **診療所のみならず、病院勤務医、研修医にも情報提供必要**

IDSC
Infectious Disease Surveillance Center

Number of Reported Measles Cases (6M period)

2017年2月～7月

Top 10*	
Country	Cases
India	35836
Nigeria	5914
Pakistan	5375
China	4329
Italy	3917
Bangladesh	2760
Romania	2633
Indonesia	1554
Ukraine	1346
Malaysia	1213

トップ10

インド
ナイジェリア
パキスタン
中国
イタリア
ハンガリー
ルーマニア
インドネシア
ウクライナ
マレーシア

Map production: World Health Organization, WHO, 2017. All rights reserved
Data source: IVB Database

Disclaimer:
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Based on data received 2017-09 - Surveillance data from 2017-02 to 2017-07 - * Countries with highest number of cases for the period

流行国に行く前には麻しん風しん混合ワクチンを！
持ち込まれても広がらないように接種率を高く維持！
医療機関では、最近1か月の渡航歴の問診が重要！！

World Health Organization

バリ島（インドネシア）を含む アジアの国々から帰国された皆様 **帰国後麻しん（はしか）を 発症する人が増えています**

次の症状が認められたら、麻しん（はしか）かもしれません
発熱、せき、鼻水、目の充血／目やに、発しん（赤いぶつぶつ）

その際は、公共交通機関の使用、人が集まる所に行くのは避けましょう
症状・渡航先を電話連絡の上、急ぎ医療機関を受診してください

尚、1歳以上で麻しん（はしか）を含むワクチン（麻しんワクチン、麻しん風しん混合（MR）ワクチン、麻しんあたふた風しん混合（MMR）ワクチン）を2回受けた記録が残っている人、あるいは、麻しん（はしか）にかかったことが確実（検査で確認）な人は心配いりません。

報告地域	報告数	確定診断数	報告数
インドネシア	13	ベトナム	1
タイ/国内	2	ミャンマー	1
タイ/カンボジア	1	インド/国内	1
タイ/マレーシア	1	パキスタン	1
タイ	1	ネパール	1
マレーシア	1	ニュージーランド	1
シンガポール	1	ガボン	1

報告地域	報告数
インド	35836
ナイジェリア	5914
パキスタン	5375
中国	4329
イタリア	3917
バングラデシュ	2760
ルーマニア	2633
インドネシア	1554
ウクライナ	1346
マレーシア	1213

図 麻しん報告数 2017年 第1～24週 (n=163)
2017年6月21日現在

厚生労働省 出国前

イタリア・ルーマニアを含むヨーロッパ地域で
「麻しん（はしか）」の
大規模な流行が起きています。

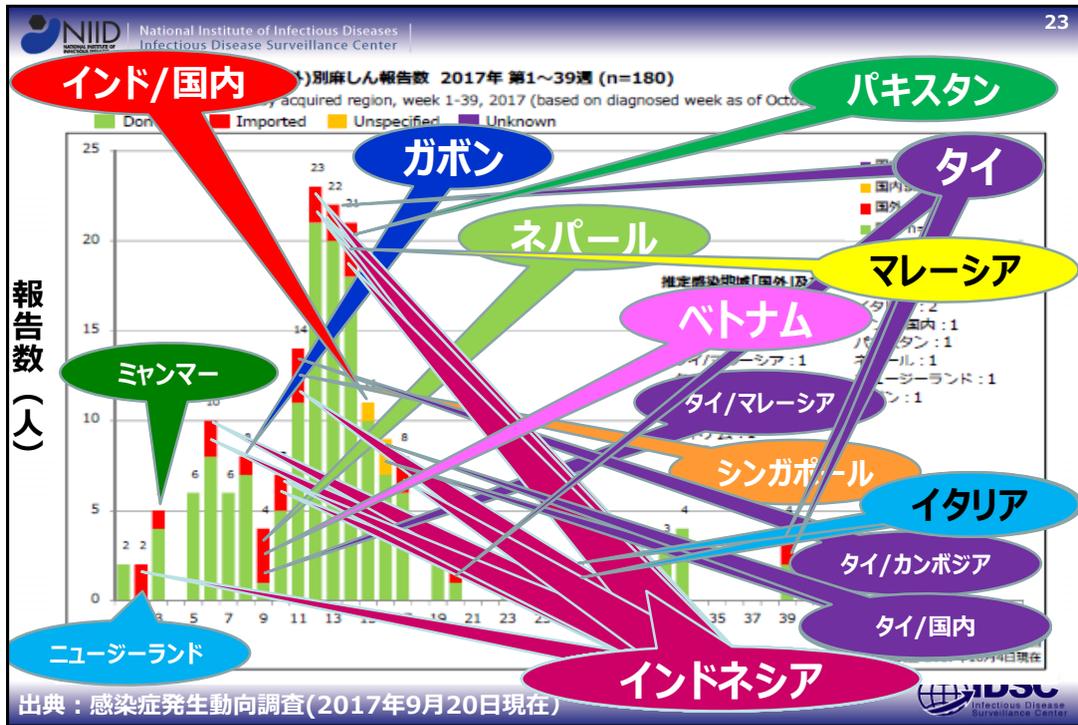
海外に行く方で、麻しん（はしか）にかかったことが明らかでない場合

麻しん報告数上位10の国々
(平成29年1月～平成29年6月)

国名	報告数
インド	35836
ナイジェリア	6802
中国	4347
イタリア	3660
パキスタン	3029
ハンガリー	2913
インドネシア	2242
コンゴ民主共和国	2082
ルーマニア	1844
タイ	1352

ヨーロッパ地域における麻しんの流行状況
(平成28年6月～平成29年5月)

詳しくはこちら 厚生労働省 麻しんについて

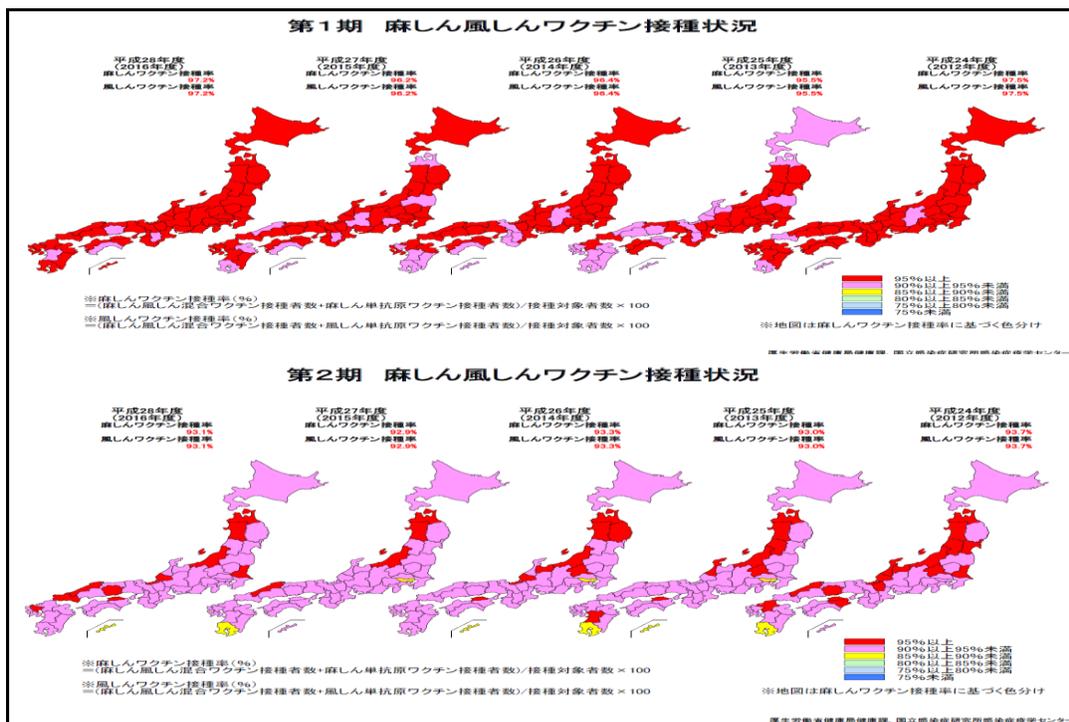
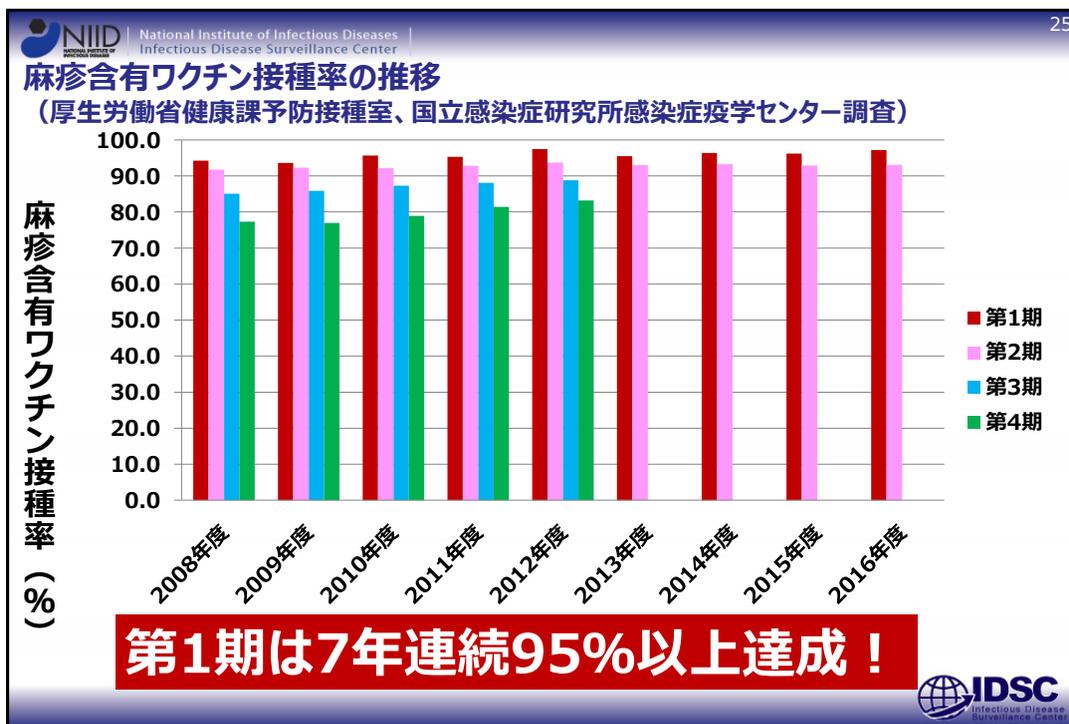


NIID National Institute of Infectious Diseases
 Infectious Disease Surveillance Center

今日の内容

- 麻疹に関連した各種ガイドラインの変更点に関する説明・・・現在作成中
- 最近の国内外の麻疹発生動向
- **麻疹含有ワクチンの接種率**

IDSC Infectious Disease Surveillance Center



NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center

麻疹含有ワクチン接種率

全市区町村の第1期、第2期の接種率公表

厚生労働省HP：麻しん風しん予防接種の実施状況

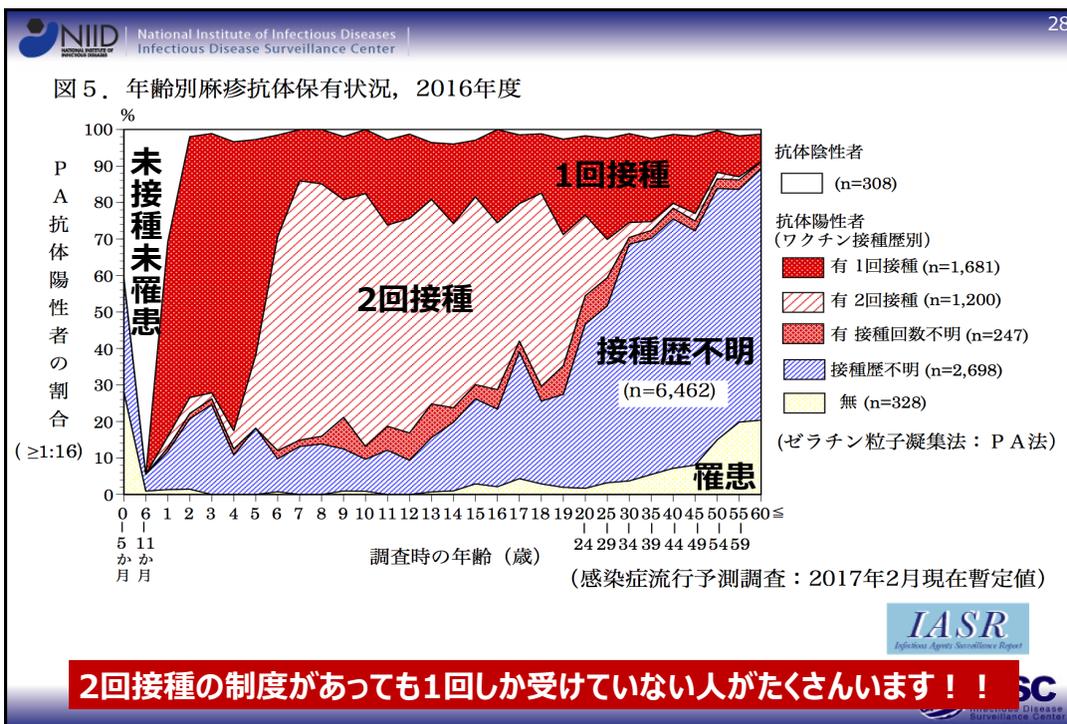
- <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/hashika.html>

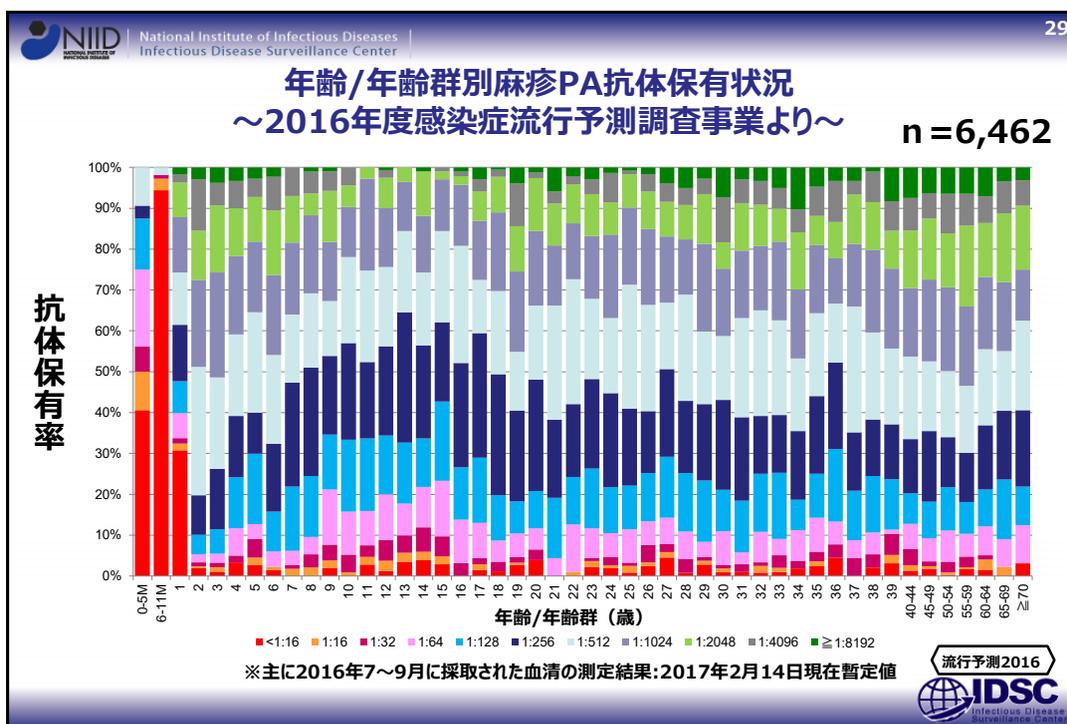
国立感染症研究所感染症疫学センターHP：麻疹

1. 麻しん予防接種情報

- <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles/221-infectious-diseases/disease-based/ma/measles/550-mesles-vac.html>

IDSC Infectious Disease Surveillance Center





- NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center
- 国立感染症研究所感染症疫学センター
 - 大石和徳
 - 第1室/FETP
 - 神谷 元、島田智恵、福住宗久、松井珠乃、八幡裕一郎、山岸拓也、渡邊愛可、小林祐介、新橋玲子、錦 信吾、松井佑亮、川上千晶、上月愛瑠、加賀優子
 - 第2室
 - 有馬雄三、加納和彦、木下一美、駒瀬勝啓、砂川富正、高橋琢理
 - 第3室
 - 新井 智、奥野英雄、佐藤 弘、多屋馨子、森野紗衣子
 - 国立感染症研究所ウイルス第三部
 - 竹田 誠
- IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center 31

日頃より、「1人発生したらすぐ対応!」、感染症発生動向調査、感染症流行予測調査、予防接種状況調査にご協力いただいている、関係者の皆様に感謝いたします。

ガイドラインは近日中に完成させる予定です。

ご清聴ありがとうございました

